

古都祝奈良2025-2026 事業計画(案)

KOTO
HOGU
NARA

ことほぎ
なら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

□ 令和7年度 事業方針

- 文化庁補助金「文化芸術創造拠点形成事業」が不採択となったことから、これまで交互にメインプロジェクトに据えてきた「演劇」・「美術」の既存事業の一部は規模を縮小して実施する。
- 昨年度末に実施した「メディアアート」の分野にも取り組みつつ、来年の「東アジア文化都市選定記念10周年」に向けた事業の準備を並行して実施する。

令和7年度 事業構成【全体像】

プログラム・ディレクター（予定）

美術

- ◆ 古都祝奈良の学校
- ◆ グリーン・マウンテン・カレッジ

小山田 徹
藤 浩志



演劇

- ◆ まちなか舞台
- ◆ パフォーミングアーツ
(演劇ワークショップ)

田上 豊



メディア
アート

- ◆ ならまちアート・コラボラトリー

森山 朋絵



令和7年度 事業構成の変更

令和6年度

アートハブ

- まちなか舞台
- ならまちワンダリング (ゼミ・部活)

クリエイション

- 青少年と創る演劇Lite
- ならまちワンダリング (ラボ)

ラーニング

- 古都祝奈良の学校
- ならまちワンダリング (座学・グリーン・マウンテン・カレッジ)

メディアアート

- シンポジウム

令和7年度

以下に統合し、事業を実施する。

美術

- 古都祝奈良の学校
- グリーン・マウンテン・カレッジ

演劇

- まちなか舞台
- パフォーミングアーツ (演劇ワークショップ)

メディアアート

- ならまちアート・コラボラトリー

横断プログラム

- シンポジウム
- 東アジア文化都市10周年事業に向けた構想案制作

令和7年度 事業概要(1)

美術

●古都祝奈良の学校

プログラムディレクションチーム



小山田 徹



藤 浩志

「教科書をつくること」と
「奈良で若手アーティストの活動の場
を開くこと」を目的とした
3年間限定のプロジェクト

プログラムディレクター

小山田 徹 (美術家・京都市立芸術大学学長)

藤 浩志 (美術家・秋田公立美術大学教授、NPO 法人アーツセンターあきた理事長)

奈良で若手アーティストの
活動の場を開くこと

※右のようにスキームを
変更し、規模を縮小。

教科書をつくること

※具体的な教科書案を作成する

R6年度秋

1年目

参加者7組
奨学金5万円
メンターと共に合宿
11月にプラン発表

R7年度

2年目

★活動の継続★
メンターとともに

R8年度秋

3年目

自身のプランを
企画実現会議でプレゼン!!
数組選抜し、制作を支援する
⇒メンターとともに創りあげ、秋に実施

どのような教科書を作成するか、ディレクターやアーティスト、
地元の活動団体等で議論する。

【とき】11月29日(土)・30日(日) 【会場】ならまちセンター

●グリーン・マウンテン・カレッジ

平成30年度から実施し、8年目を迎える継続事業。実施テーマを決めて、
さまざまなゲストを迎え、参加者とともに小さな火を囲む「学び合いの場」

校長：小山田徹 教頭：ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

【とき】11月28日(金)・29日(土) 【会場】ならまちセンター



令和7年度 事業概要(2)

演劇

今年度は規模を縮小し、以下とする。

- ・ 「青少年と創る演劇」は実施しないものとする
- ・ 「まちなか舞台」は「パフォーミングアーツ」は前回実施よりも回数・規模等を縮小する。

●まちなか舞台

公募で選ばれた劇団による、まちなかでの特別公演。
まちなかで演劇の魅力にふれる機会を届ける。

【とき】10月25日（土）・26日（日）

【会場】奈良市役所南庭、三条通り旭水公園、
ならまちセンター



R6年度実施の様子

プログラムディレクター

田上 豊（劇作家・演出家。劇団田上パル主宰。芸術文化観光専門職大学助教）

●パフォーミングアーツ

中学・高校生向けにオムニバス形式の演劇ワークショップを開催。

【とき】11月15日（土）・16日（日） 【会場】音声館

※開催時に参加費を徴収予定。実行委員会予算の収入ではなく、講師への還元や実費等として充当する。

【講師】

田上 豊

芹井 祐文（演出家・演技講師・関西文化芸術高等学校講師）



令和7年度 事業概要(3)

メディアアート

プログラムディレクター (予定)

森山 朋絵 (メディア芸術キュレーター
／東京都現代美術館学芸員／大阪芸術大学客員教授)

●ならまちアート・コラボラトリー

奈良県内の教育機関と連携し、アートとテクノロジー、サイエンスを融合した連携型プログラムを展開、成果をアートで展示

アート／テクノロジー／サイエンスのコラボラトリー (協働結社・協働ラボ) として、**教育機関にアーティストを派遣**。東アジア文化都市10周年に向け、そのリサーチを兼ねる作品紹介講義とAR・VR展示等を行うアイデアブレストを実施。

(例「文化庁メディア芸術クリエイター人材育成支援事業」等との連携)

連携教育
機関(案)

- ・奈良先端大学大学院
- ・奈良女子大学
- ・奈良高専
- ・一条中・高等

横断プログラム

●文化・芸術・観光をめぐるシンポジウム

アジア各地の研究者・アーティスト・政策関係者を招き、文化財と芸術、まちの未来をつなぐ対話の場を創出。



その他

●東アジア文化都市選定記念10周年事業に向けた構想・計画案の作成

10周年事業を実施するにあたり、基本構想や計画策定に取り組む。